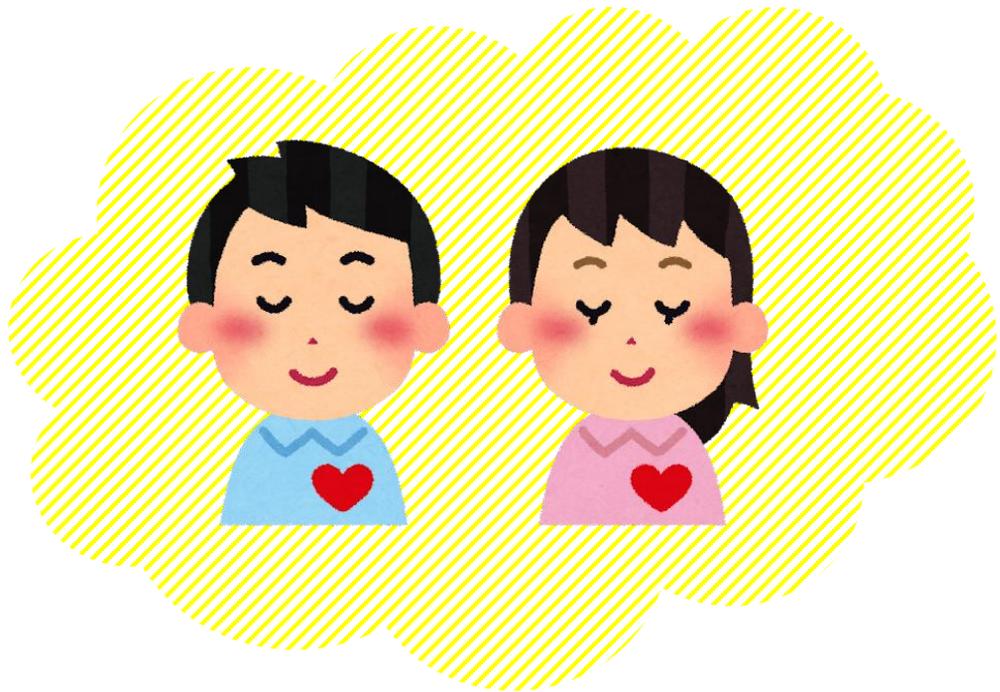


「若年性認知症の検査を受けようかな？」 と悩まれている方へ



若年性認知症は65歳未満に認知症を発症した方をいいます。
診断を受けた人は、全国では4万人近くいるといわれています。

その家族である配偶者や子どもを含めると、もっと多くの方が
不安の中にいることになります。

このパンフレットは、受診しようか迷っている時に見ていただくため、
実際に私たちが支援に携わったご本人やご家族からも意見をいただき、
作成をしました。

東住吉オレンジチーム

～あるご家族からのメッセージ～



夫の異変に気付いてから受診までに1年かかりました。

悩んでいる人は、早く受診してほしい。
認知症でなければそれはそれでいいし、認知症であれば早くから治療を受けることができます。

「認知症です」と診断名を聞いた時はショックでした。
でもそれ以上に、「ああ病気が原因だったんだな」と仕事や生活でうまくいかなかった原因が認知症によるものだったのだと、胸にストンと落ちました。

まだ、完全に受容することはできていませんが、一歩ずつ前に進むことができます。

異変に気付きながらも、どこに相談すればいいのかわからず、原因もわからず、先が見えなかった時に比べると、この先の不安はありますが、
“今、できることをしよう”と思えますし、対応の仕方も変わります。

診断を受けないと何も始まりません。
受診すること、診断を受けることはとても大事です。

早期に診断や治療を受けるメリット

治療や介護
がはじまる

相談機関に
つながる

病気と向き
合えるよう
になる

若年性認知症のサインかもしれません

認知症は働き盛りの方でもかかる病気です。若い方の場合、気になる変化があっても認知症とは結びつかず、診断や治療が遅れることがあります。

下記のチェックリストはおおよその目安ですが、項目のいくつかに当てはまるようでしたら、医療機関を受診してみましょ。周りの方からみても心配な項目がいくつか当てはまりましたら、受診をすすめてみてください。

チェックリスト

- 仕事の予定や約束を忘れる
- 以前と比べるとミスが多い、増えた
- 物の名前や人の名前が思い出せなくなるがよくある
- 2つ以上のことが重なると混乱する
- 降りる駅を間違えるようになった
- 会話がどこかかみ合わなくなる
- リモコンや電話等、使い方に戸惑うことが増えた
- 身だしなみを気にしないようになった
- イライラしたり、元気がなかったり、感情の波が激しい
- 仕事のやる気がでない
- 夜眠れないことが多い

ポイント

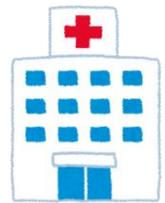


認知症は早期発見・早期受診が必要な病気です。受診するか迷われている場合は、まずは受診してみましょ。

受診したい時

かかりつけ医がいる場合

- ① 「気になる症状」がいつからなのかを具体的に伝えましょ。
- ② 詳しい検査を受けたい、治療を受けたい等、意向を伝え、認知症専門医を紹介してもらいましょ。



かかりつけ医がない場合

どこの医療機関にかかればいいのか迷うと思います。東住吉オレンジチームにご相談いただければ、医療機関におつなぎいたします。



ポイント



※主に認知症専門医のいる病院は、検査を行うことが主であり、その後の治療はかかりつけ医へと言われることが多いです。まずはかかりつけ医を見つけ、専門の医療機関へ紹介していただくと、スムーズであり安心です。

認知症の検査はどんな検査があるの？

認知症の検査は、専門医のいる医療機関で行われます。必要に応じて、下記の検査があります。症状によっては、それ以外の検査も行われることもあります。

検査	内容
問診	既往歴、家族歴、服用中の薬、認知症の症状のことをご本人やご家族、介護者等から話を聞きます。
血液検査	認知症に似た症状が出る疾患がないか確認するために検査を行います。
画像検査	CTやMRIを行い、脳梗塞や脳出血、脳腫瘍はないか、脳の萎縮はあるか、どの部位に萎縮が強いかなどがわかります。
脳血流検査	CTやMRIではわからない脳の各部位の活動性を確認します。認知症の種類により、特定の部位で血流が少なくなることがわかっているため、診断に役立ちます。
神経心理学的検査	認知症の有無の確認や、認知症の症状の進行の程度などを調べる検査です。聞き取りの検査になります。

診断を受けたあとの生活について

症状の
進行

お金
のこと

利用できる
制度・資源

子どもの
教育のこと

社会参加
の場所

など・・・

診断を受ける前後、左記のことをよくご相談いただきます。

初めてのことばかりで、何からどう進めていいかわからないと思います。

「東住吉オレンジチーム」は、認知症に関する不安や悩みをお聞きし、適切な機関や資源におつなぎするチームです。

認知症は長く付き合っていく病気です。

一人で抱えこまず、今できることを一緒に考えていきましょう。



東住吉オレンジチーム

住所：東住吉区湯里1-1-30

電話：06-6760-7578

mail：dementia@smile-yume.com

